一般社団法人宮崎県理学療法士会第72回理事会議事録

1. 理事会の種類　第72回理事会
2. 召集年月日　　2021年4月28日（金）
3. 開催場所　　リモート会議
4. 開催日時　　2021年5月7日（金） 19時00分～
5. 出席者

役職名	出席（委任）	出席者氏名
理事	13名	中田、浜口、湯地、田村、迫田、常盤、大森、小川、竜田、貴嶋、柚木、吉良、平島
監事	2名	門川、吉田
部長	1名	落合
事務局	3名	加藤、西、前田

定刻に至り、加藤部長より定足数の報告後、定款第36条1項に基づき理事会成立の旨を伝え、中田理事の挨拶の後審議に入る。

【報告事項】

1）　県・市町村からの委託事業について

中田会長より報告がなされた。宮崎県理学療法士会および宮崎県リハビリテーション専門職協議会で受けている委託事業として、県からはリハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業とリハビリテーション専門職の事業所等派遣支援の依頼あり。宮崎市からは宮崎市出前健康講座の依頼あり。腰にやさしい介護普及事業については昨年度で終了。常盤理事より、高校野球宮崎大会の医療サポート業務について報告あり。宮崎アスレティックトレーナー協会と宮崎県理学療法士会の両会員を対象に、スタッフの募集を行う予定である。

2）　臨床実習指導者講習会について

貴嶋理事より報告がなされた。令和3年6月26・27日の2日間に、都城リハビリテーション学院にて開催予定。昨年度は新型コロナ感染症の影響で2回中止になった経緯あり。感染拡大の状況で判断する必要はあるが、現時点では開催の予定。日本理学療法士協会でリモート開催についての検討がなされているが、現段階での詳細は未定。

【審議事項】

1）　2020年度事業報告および決算について

加藤部長より2020年度決算書及び正味財産増減計算書内訳表の資料を元に報告がなされた。吉田監事、門川監事の監査報告についても報告あり。報告書等に不備および修正箇所はなし。事業報告、監査報告ともに押印後総会資料に加えることで承認。

2） 電子領収書について

加藤部長より報告がなされた。電子印鑑（公印）の作成が完了。電子領収書発行の必要がある場合は、事前に担当理事と事務局へ報告。領収書発行にあたり、複製や改ざん防止の観点から、電子公印は事務局でのみ押印可とする。発行までの流れを再度検討する必要はあるが、現状案のまま運用開始することで承認。まずは、士会主催の研修会で運用を開始する。

3） 提出議題

① 第 26 回宮崎県理学療法学会での新演題管理システムの運用について

落合部長より説明がなされた。日本理学療法士協会主催の新演題システムについての説明会に参加。開発された新演題システムを、第 26 回宮崎県理学療法学会で運用したいと考えている。システムを導入することで、学会部と運営部と連携がスムーズとなり業務の効率化が図れる。不足している箇所は既存のシステムと併用する。審議の結果、第 26 回宮崎県理学療法学会での導入について承認。

② ライフサポート部アンケート調査について

大森理事より報告がなされた。会員が様々なライフワークバランスを考えながら理学療法士として勤務を継続していく手伝いをするため、まずは研修会の参加状況などについてアンケートを実施したいと考えている。審議の結果、アンケート内容の再検討が必要なため、継続審議となった。

【その他】

1） 県北ブロック部長の変更について大森理事より報告がなされた。4 月をもって延岡リハビリテーション病院の黒木慎太郎氏 → 谷村病院の藤岡崇氏へ変更。

2） 役員改選について中田会長より報告がなされた。届出者は理事 14 名（新規 3 名）と監事 2 名で定数内となった

3） 令和 3 年度年会費のお知らせについては、会員へ文書を送付することで準備を進める。

4） 6 月 13 日開催の総会当日の流れについて加藤部長より報告がなされた。9時より総会、10 時より新人教育プログラム、11 時より日本理学療法士協会斉藤副会長の説明会の流れでスケジュールすることが確認された。新人教育プログラムとは別に、斉藤副会長の説明会の参加者を募集するため生涯学習部に案内作成を依頼。

5）会員異動等について承認

6）今後の日程について
次回理事会は、2021 年 6 月 13 日（日曜日）に開催予定。

議事録署名人として議長及び理事を選出し、20 時 48 分に散会した。
上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人これに署名（記名押印）する。